

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサホールディングス株式会社

コード番号 2784 URL <https://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保 泰三

 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 岸田 誠一 (TEL) 03-5219-5102
 総務・財務担当 兼 財務企画部長

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績 (2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	677,033	2.0	9,182	△7.0	11,616	△7.2	7,889	△5.5
2019年3月期第1四半期	663,825	2.7	9,879	57.5	12,514	43.8	8,346	43.3

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 △441百万円(ー%) 2019年3月期第1四半期 12,182百万円(47.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	37.27	ー
2019年3月期第1四半期	38.62	ー

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,362,262	436,552	32.0
2019年3月期	1,341,964	442,081	32.9

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 435,345百万円 2019年3月期 440,924百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	24.00	ー	24.00	48.00
2020年3月期	ー				
2020年3月期(予想)		25.00	ー	25.00	50.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期における第2四半期末配当金および期末配当金には、それぞれ記念配当が3円含まれております。

3. 2020年3月期の連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,326,000	2.2	21,400	10.1	26,100	7.2	17,800	6.1	84.09
通期	2,680,000	1.5	45,400	1.4	55,600	0.8	37,600	△9.9	177.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期 1Q	235,017,600株	2019年3月期	235,017,600株
② 期末自己株式数	2020年3月期 1Q	23,343,521株	2019年3月期	23,343,237株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期 1Q	211,674,205株	2019年3月期 1Q	216,126,151株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(企業結合等関係)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは、今年度新たに「19-21中期経営計画 さらなる成長への挑戦 ～健康とともに、地域とともに～(以後「19-21中計」という)」を策定し、グループ経営方針に掲げた「グループ連携体制の構築」「事業モデルの変革」「地域の人々の健康への貢献」「さらなる生産性の向上」「人づくり」に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間における当社の業績は、売上高6,770億33百万円(前年同期比2.0%増)、営業利益91億82百万円(同7.0%減)、経常利益116億16百万円(同7.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益78億89百万円(同5.5%減)となりました。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

① 医療用医薬品等卸売事業

医療用医薬品市場におきましては、抗悪性腫瘍薬の需要拡大等の影響により、市場は0.7%の成長となりました(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)。

当社グループでは、厚生労働省より公表され2018年4月からスタートしました「医療用医薬品の流通改善に向けて流通関係者が遵守すべきガイドライン」の遵守を重点課題として、「経済合理性に立った取引の推進」「単品単価契約の推進」「早期妥結の推進」に引き続き取り組んでおります。

また、当社グループは医療用医薬品NO.1卸*として勝ち続けるために「19-21中計」の重点施策として掲げた「MS機能のさらなる進化」「スペシャリティ商品への注力」「グループ物流の高度化、効率化と標準化」に取り組んでおります。

「スペシャリティ商品への注力」としては、グループ会社であるエス・エム・ディ株式会社(本社：東京都千代田区)を活用した一元流通の積極的な展開を図っております。

「グループ物流の高度化」への取り組みとしては、連結子会社のアルフレッサ株式会社(本社：東京都千代田区)が、静岡物流センター(仮称)(所在地：静岡県藤枝市)の建築に着工いたしました。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高5,975億87百万円(前年同期比2.3%増)、営業利益80億8百万円(同11.6%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高40億58百万円(同6.4%減)を含んでおります。

※ 出典：「2019最新オール・データ&ランキング」卸グループ別医療用医薬品事業シェア(株式会社ドラッグマガジン)

② セルフメディケーション卸売事業

セルフメディケーション卸売事業におきましては、「トータルヘルスケア・マーチャндаイジング・ホールセラ」を推進し、新たな付加価値による差別化と創造性を持つオンリーワン卸を目指し、「19-21中計」の重点施策として掲げた「安定的かつ持続的な事業基盤の確立」「消費者視点に立った商品提案」「専売メーカー・専売商品の取り組み強化」「将来に向けた投資」「各事業セグメントとの連携強化」に取り組んでおります。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、インバウンド需要の減少および人手不足による人件費・物流費の高騰などにより売上高667億29百万円(前年同期比2.0%減)、営業利益3億87百万円(同43.3%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高2億6百万円(同71.3%減)を含んでおります。

③ 医薬品等製造事業

医薬品等製造事業におきましては、グループシナジーの強化とさらなる規模拡大を推進するため、「19-21中計」の重点施策として掲げた「安心・安全・誠実なモノづくりの推進」「グループニーズに沿った製品の拡充」「製造受託・医薬品原薬事業の拡大」「海外事業の拡充」に取り組んでおります。

「グループニーズに沿った製品の拡充」の取り組みとしては、アルフレッサ ファーマ株式会社(本社：大阪市中央区)が本年6月5日付で、潰瘍性大腸炎の病態把握の補助に使用されるカルプロテクチンキット「ネスコート® Cp オート」の体外診断用医薬品としての製造販売承認を取得いたしました。

また、本年6月27日付で放射線治療用吸収性組織スペーサ「ネスキープ®」を新発売いたしました。悪性腫瘍の治療のために行われる放射線治療の中でも粒子線を用いた治療が近年注目されていますが、本製品を使用することで多くの治療機会を提供できるものと考えております。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、第一三共株式会社(本社：東京都中央区)および同社の子会社である第一三共エスファ株式会社(本社：東京都中央区)から承継した長期収載品の影響等により、売上高107億51百万円(前年同期比5.8%増)、営業利益4億46百万円(同45.7%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高26億38百万円(同29.9%増)を含んでおります。

④ 医療関連事業

医療関連事業におきましては、収益改善を目指した効率化と環境変化に対応した機能強化を推進するため、「19-21中計」の重点施策として掲げた「機能に応じた店舗の再編」「収益改善を目指した効率化・高度化」「多機能化による地域社会への貢献」「各事業セグメントとの連携強化」に取り組んでおります。

当セグメントの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高88億68百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益63百万円(前年同期は営業損失2億33百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

資産は、前連結会計年度末と比較して202億97百万円増加し、1兆3,622億62百万円となりました。

流動資産は、336億6百万円増加し、1兆703億90百万円となりました。これは主として、増収に伴い「受取手形及び売掛金」が196億44百万円増加ならびに「商品及び製品」が130億29百万円増加したことによるものです。

固定資産は、133億8百万円減少し、2,918億71百万円となりました。これは主として、株式の売却および株式時価の下落に伴い「投資有価証券」が122億10百万円減少したことによるものです。

② 負債の部

負債は、前連結会計年度末と比較して258億27百万円増加し、9,257億10百万円となりました。

流動負債は、290億93百万円増加し、8,890億4百万円となりました。これは主として、増収による仕入高の増加に伴い「支払手形及び買掛金」が355億66百万円増加した一方で、「未払法人税等」が91億45百万円減少したことによるものです。

固定負債は、32億65百万円減少し、367億6百万円となりました。これは主として、売却による保有株式の減少および株式時価が下落したこととその他有価証券評価差額金が減少したこと等により繰延税金負債等の「その他」が30億11百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

純資産は、前連結会計年度末と比較して55億29百万円減少し、4,365億52百万円となりました。

これは主として、「利益剰余金」が28億9百万円増加した一方で、保有株式の減少および株式時価の下落に伴い「その他有価証券評価差額金」が82億74百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期決算期における市場の動向および当社グループの業績は概ね計画通り推移しており、本年5月15日に公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	206,300	205,452
受取手形及び売掛金	614,084	633,728
有価証券	10	10
商品及び製品	128,016	141,046
仕掛品	1,723	1,577
原材料及び貯蔵品	3,971	4,385
その他	83,120	84,663
貸倒引当金	△442	△473
流動資産合計	1,036,784	1,070,390
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,361	52,916
土地	65,765	65,681
その他（純額）	22,401	22,884
有形固定資産合計	141,528	141,483
無形固定資産		
のれん	4,970	4,747
その他	14,757	14,476
無形固定資産合計	19,727	19,223
投資その他の資産		
投資有価証券	123,643	111,432
その他	24,526	23,958
貸倒引当金	△4,246	△4,226
投資その他の資産合計	143,923	131,164
固定資産合計	305,180	291,871
資産合計	1,341,964	1,362,262

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	817,446	853,012
短期借入金	760	635
未払法人税等	12,645	3,499
賞与引当金	8,387	8,623
その他	20,670	23,232
流動負債合計	859,911	889,004
固定負債		
長期借入金	951	856
退職給付に係る負債	12,889	12,730
その他	26,130	23,119
固定負債合計	39,971	36,706
負債合計	899,883	925,710
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	101,958	101,958
利益剰余金	288,154	290,963
自己株式	△29,365	△29,366
株主資本合計	379,201	382,009
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,167	54,893
繰延ヘッジ損益	△0	△0
土地再評価差額金	△3,676	△3,676
為替換算調整勘定	89	100
退職給付に係る調整累計額	2,142	2,018
その他の包括利益累計額合計	61,722	53,335
非支配株主持分	1,157	1,207
純資産合計	442,081	436,552
負債純資産合計	1,341,964	1,362,262

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	663,825	677,033
売上原価	615,256	628,422
売上総利益	48,568	48,611
返品調整引当金戻入額	696	678
返品調整引当金繰入額	697	587
差引売上総利益	48,568	48,703
販売費及び一般管理費	38,688	39,520
営業利益	9,879	9,182
営業外収益		
受取利息	13	12
受取配当金	749	701
受取情報料	1,529	1,560
その他	500	627
営業外収益合計	2,792	2,902
営業外費用		
支払利息	22	23
持分法による投資損失	20	344
不動産賃貸費用	59	59
その他	54	42
営業外費用合計	157	469
経常利益	12,514	11,616
特別利益		
固定資産売却益	0	20
投資有価証券売却益	0	379
特別利益合計	1	400
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	16	19
減損損失	229	2
投資有価証券評価損	0	31
その他	1	1
特別損失合計	247	55
税金等調整前四半期純利益	12,267	11,961
法人税、住民税及び事業税	9,055	3,192
法人税等調整額	△5,102	823
法人税等合計	3,952	4,015
四半期純利益	8,314	7,945
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,346	7,889
非支配株主に帰属する四半期純利益	△31	56

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,730	△8,274
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	△13	11
退職給付に係る調整額	156	△125
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	0
その他の包括利益合計	3,868	△8,387
四半期包括利益	12,182	△441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,214	△497
非支配株主に係る四半期包括利益	△31	55

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

企業結合による暫定的な会計処理の確定

2019年3月1日におけるアルフレッサ ファーマ株式会社(当社連結子会社)と第一三共株式会社および第一三共エスファ株式会社の企業結合について、前連結会計年度において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第1四半期連結会計期間に確定しております。

この暫定的な会計処理の確定に伴い、取得原価の当初配分額を以下のように見直しております。

1. 配分額の見直しの内容

のれん(暫定額)	5,845 百万円
製造販売権	△7,482 百万円
繰延税金負債	2,287 百万円
のれん(確定額)	651 百万円

2. 製造販売権の償却方法および償却期間

15年の均等償却

3. 影響額

上記の見直しに伴い、前連結会計年度末におけるのれんおよび繰延税金資産はそれぞれ5,139百万円および2,275百万円減少し、製造販売権および利益剰余金はそれぞれ7,440百万円および25百万円増加しております。

(セグメント情報)

1. 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	579,933	67,359	8,131	8,400	663,825	—	663,825
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,333	716	2,031	—	7,082	△7,082	—
計	584,267	68,076	10,162	8,400	670,907	△7,082	663,825
セグメント利益又は損失(△)	9,064	682	306	△233	9,819	59	9,879

(注1) セグメント利益の調整額59百万円には、セグメント間取引消去41百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用18百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注2)
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメ ディケー ション卸 売事業	医薬品等 製造事業	医療関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	593,529	66,523	8,112	8,868	677,033	—	677,033
セグメント間の 内部売上高又は振替高	4,058	206	2,638	—	6,903	△6,903	—
計	597,587	66,729	10,751	8,868	683,936	△6,903	677,033
セグメント利益又は損失(△)	8,008	387	446	63	8,905	277	9,182

(注1) セグメント利益の調整額277百万円には、セグメント間取引消去189百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用88百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注2) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。